

平成21年度 交通まちづくり懇話会（第1回目）

概要

日時：平成21年10月16日 金曜日 午後1時30分～午後3時30分
場所：八尾市役所 本館6階 研修室
参加者：アドバイザー 1名（近畿大学理工学部教授 久隆浩先生）
一般参加者 19名、市職員 9名（交通対策課、土木建設課）

【オリエンテーション】

開会のあいさつ（略）

本日の懇話会の進め方について（略）

【自己紹介】

一人ずつ自己紹介と日頃交通に関して感じていることを述べた。

◆自己紹介概要（要約）

- ・交通まちづくりということで交通というからには道ということがすぐに頭に浮かぶ。道は元々人が歩いた所から出来てきた。現代では道は車が通るものという認識だが、弱者（歩行者、高齢者、障がい者）優先の道を造ることがよいまちづくりに繋がる。また、八尾の道は街路樹が統一されておらず計画性がない。歩いた時に気分がいいと思えるような道を造っていただきたい。
- ・36年間交通関係の仕事に従事している。今回初めて懇話会に出席したが経験が生かせればと考えている。交通に関する質問があれば聞いてほしい。
- ・歩道の改良工事で青山通りと25号線の歩道の段差が無くなり、自転車が乗りやすくなった。八尾茨木線の道の改良が今年度行われるということだがどういうことに留意されているかお聞きしたい。前回のタウンウォッチングによって改良された点が知りたい。
- ・道路に関して言えば、車よりも自転車への対策が大幅に遅れているように感じる。市道第374号線は学生や幼稚園の送り迎えで非常に混雑し、狭くなっている。また、玉串川沿いの桜並木の為に道路の幅が狭くなっている。今度の改修の際にどうなるか見守りたい。
- ・西山本から桜ヶ丘へ出る道は元々整備されていなかったが、道を造っていただき感謝している。ただし人が二人通るのがやっとの幅しかないの、あと50cmぐらい広くしていただきたいかった。また、山本駅の西側の塾の前に並んでいた自転車が、今は綺麗に無くなって感謝している。近鉄山本駅南のエレベーターが出来たこともみんな感謝している。道を造る際は感謝されるような道を造ってほしい。
- ・若者の自転車の無灯火走行が未だに多い。狭い道でスピードを出すので危険。中学生に必ずライトを点けて走行するよう教育してほしい。携帯電話を使用しながらの走行も強く禁止してほしい。
- ・青山通りが広がったのはいいが、自転車の暴走が多くなった。車道が狭くなったため

に歩道側へ車の片輪をかけて駐車している。高美中学校と小学校の西の道が広くなり、通りやすくなった。

- ・初参加なので話を聞きたい。

- ・高安駅のエレベーターの工事開始が10月からだと聞いて納得できた。府道山本黒谷線は道幅が狭く、昔に比べ車が増えて危険。一方通行にしてほしい。

- ・歩行者、同方向の左折車、反対方向からの右折車が青信号で同時に渡ると、歩行者にとって危険。例えば歩行者用信号の青の時間が1分では短いので、1分半に延ばせばより安全になるのでは。

- ・八尾市では100歳以上の人は61人で今後も高齢化が進んでいくと考えられる。高齢者が出歩くのが楽しくなるような歩道を造ってほしい。

- ・去年の年末に車いす生活になった。ある交差点で信号の段差、歩道の急な勾配、コンビニの段差が半年の間に解消された。自分が危険だと感じたところをアピールしていくことでタイミングさえよければ前向きに取り組んでももらえるということが分かり大変嬉しかった。グループで取り組んでいきたい。

- ・前回のタウンウォッチングの時、駅前を猛スピードで走行する自転車が怖いと思った。せめて駅前広場を自転車通行禁止にすべき。高齢者の事故が増えているので高齢者向けの交通安全教室をやっていただきたい。

- ・車いすも歩行者であるにも関わらず、現状では車いすのためには道ができていない。ハード面は改良され、道も良くなってきているが、ソフト面がまだまだである。自転車のマナーが悪くて困っている。出歩くのが楽しくなるまちを目指していきたい。

- ・山本交番前から山本高校への道が凸凹で、車で通っても振動が激しく、車いすで通ると体に響いて辛い。また、北山本交番から西へ行く広い道は道路が二つに分かれている所があり、車が両方から来ると通れないことがある。一方通行にしてほしい。

- ・視覚障害があるのでヘルパーと一緒に歩道を歩くことがあるが、医真会の前から八尾南へ行く道路の途中、歩道に電柱が多く、二人で歩くのは大変。学生の自転車は携帯を操作しながらの運転も危険。たばこを吸いながらの歩行については罰金を取るような条例を作してほしい。

- ・ちゃりんこバスターズで啓発活動や自転車整理をしている。市民だけではできないことでも行政と一緒に活動することでよりよい活動ができる。山本駅が一番放置自転車の状態が悪いので今後も力を入れていきたい。近鉄八尾は数年前に比べてずいぶん放置自転車が減ったという意見も聞いている。

- ・旅客自動車運送事業をされており特に大阪市の支援学校の生徒の送迎をしている。こういう場で色々学びたい。

- ・地球温暖化問題により、自動車から自転車に乗り換える人が多くなると考えられるが、全体的に道路幅が狭い。車道を自転車が走ることになると色々トラブルが起こる。歩道と車道をフラットにし、自転車走行帯を造ってほしい。

- ・(市) 喜ばれる道を造っていききたい。ただし改良した結果として道を広げると自転車のスピードが上がる等悪い点もあるので意見を聞いて参考にしたい。
- ・(市) これから道路の幅を広げていくのは難しく、用地の買収も時間がかかる。限られた道の幅を有効に使うことが大事。地元の警察と協力していききたい。
- ・(市) 放置自転車担当をしているのでそれに関する意見をいただけることを嬉しく思う。皆様にご協力いただいた結果のことであるので今後ともご協力いただきたい。
- ・(市) 今年から自転車も担当している。今後とも放置自転車のことも気にかけていききたい。
- ・(市) 昨年度みなさんのご協力をいただき近鉄高安駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定した。その基本構想について10月末からエレベーター設置工事が始まる予定なのでご協力をお願いしたい。
- ・(市) 生活道路に車が走って危ないので何とかしてほしいという意見をいただいたので現場へ行くと、市民の方が旗を持って子供たちの交通誘導を行っているところを見た。行政として出来る部分は努力させていただくが、やはり市民の方のお力添えもいただけたらと期待している。様々な問題について共通認識をもって取り組んでいきたい。
- ・(市) 交通に関する課題を様々な観点から見るようにしている。今日みなさんからご意見をいただいて今後につなげていきたいと思う。
- ・(市) 今日の皆さんの意見を聞かせていただいて今後の業務に取り組んでいきたい。
- ・(市) 自転車とバリアフリーを担当している。市民の方の意見を聞く機会が多いので、今日の意見も今後の業務に反映していききたい。

(事前にいただいた意見の紹介)

- ・愛あいバスを復活させてほしい。市の中心部に行く公共交通がないので自家用車を乗合で利用しているが、他の人と一緒に乗るのは不安。
- ・道路の凸凹が長期間放置されている。
- ・八尾市バリアフリー都市宣言を行って色々な施策を進めてほしい。
- ・近鉄八尾の券売機の点字が読みにくい。

【前回のふりかえり】

前回懇話会で意見があった点について市から報告。

◆報告概要(要約)

- ・(市) 前回意見は近鉄へも伝えており、近鉄からはみなさんの意見を参考に組みたいという回答をいただいている。転落防止柵については物理的な問題もあって困難という回答。中央口のトイレの電球の明るさについては元々社内照度の基準を満たしていたが、すぐに新しいものに変えていただけた。お困りのことがあれば気軽に駅員に声をかけてほしいとのことなので積極的に声をかけていただきたい。
- ・(市) 市民活動として取り組んでいただいているちゃりんこバスターズの放置自転車対策、啓発活動が5年を迎え、有り難うございます。市民啓発が行政として少ないというご指摘を受けたので、市政だより8月号に放置禁止区域を掲載し、また外国人向けの多言語情報

誌に各国語で放置禁止区域を掲載した。禁止区域を知らせる看板が少ないと指摘を受けた件については古くなった看板が多く、目立ちにくかったため、今回固定式 112 本をすでに取替え、移動式 60 本をこれから取り替えることとなった。心の部分まで入り込んでいく市民啓発が必要。

・(市) 路面のめくれあがりについてはすぐに補修できるが、実際に歩いてみないと分からない部分もあった。放置看板についてはクリーンアップロード作戦で根強く取り組んでいきたい。歩道の傾斜がきつい、点字ブロックを付けてほしいということについてはすぐに取り組めることではないが今年度近鉄八尾駅前についてはバリアフリー化に向けて歩道の勾配や点字ブロックなど安全対策に関する検討をし、次年度以降実際にやっていきたい。

【意見交換】

全員で交通全般に関して意見交換を実施。

◆意見概要（要約）

・ある程度テーマを決め、色々な展開をしながら進めていく。一つは歩道について、どんな歩道になってほしいか。もう一つは歩道を使う自転車、歩行者のマナーはどうあってほしいか。さらに発展して放置自転車の問題についてどう考えるか。まずは歩道をキーワードにお話いただければと思う。

・券売機の蹴り込みは、券売機の機械自体が下まであるので、蹴り込みを奥にするには券売機自体を変えないといけないので難しいと聞いたことがあるが、豊中の緑地公園駅では試験的に券売機を前に出してボタンを押しやすくする試みがなされているので検討してほしい。基本構想を作る前にはワークショップを開催して意見を集めた方がよい。

・(市) 近鉄に聞いたところ近鉄と取引のあるメーカーでは前にせり出すタイプの券売機は取扱いがないとのこと。豊中でそういう話があるということは近鉄に伝えておく。

バリアフリー基本構想については作りっぱなしということではなく、皆様にいただいた意見を参考にさせていただいたり、必要があれば基本構想の変更も視野に入れている。

・スクランブル交差点を造る際に道路幅の法的な基準はあるのか。また、八尾駅バリアフリー構想について、どの程度まで進めるのか。

・(市) 市内にスクランブル交差点は大体 5, 6 箇所ある。正確には歩車分離式交差点。

・スクランブル交差点というものは歩行者だけが通行できるというもの。第一に道路の通行量を考慮しなければならないが、今後スクランブル交差点は採用されにくいと思われる。

・市内には憩いのための道路があるが、あまり知られていないのもっと PR していただきたい。色々ないい道はあるが認知されていないところもあるので掘り起こしていくべき。コミュニティ道路とは何か。また、いい道があるが公衆トイレが設置されていない。各小学校周辺に歩道が少ないように感じる。八尾市には東西には交通機関が走っているが、南北には大きな道路しかないので歩道がほしい。

・西武百貨店のスクランブル交差点は車いすだと斜めに渡ると渡りきる前に信号が変わってしまう。成法中学東側の歩道は車いすが通れない。さらにごみ出しの日は歩道にごみを

置かれてさらに道が狭くなる。

・はあとふる病院前の歩道の段差がきつく、車いすでは降りられない。病院に聞くと市にお願いしているが回答がないとのこと。検討中だけで済ませるのではなく、いつまでに回答する、というような責任ある形をお願いしたい。

・歩道の真ん中に電柱がある。自転車は基本的には車道を走るものだが、みんな歩道を走っている。マナー面では傘をさしながら運転するなど危険な面がある。教興寺の府道は道路が狭く、車同士がすれ違えず歩道を造ることもできない。行政は安全に人が通れる道はどうすれば造れるかしっかり考えていくべき。

・自転車が通ってもよい歩道もあるが、その標識が錆びているところもあるので新しくしてどこを自転車が走っていいのか分かりやすくすべき。

・逆に標識が通行の邪魔となっているケースもある。道路を使う方もどうやって使うか考えなければならない。

・道の凹凸の無い、車いすが楽しく出歩けるような道路を造ってほしい。

・(市) 公共交通に関するお考えがあればお話を聞きたい。

・高齢者や障がい者が病院や福祉施設に通うのにバスを利用することが多いので福祉施設と駅を結ぶバスを検討していただきたい。

・市電に相当するような小型のバスを1回100円で走らせてほしい。

【おわりに】

アドバイザーからのコメント（要約）

・今回は行政からテーマを投げかけたせいか今までと雰囲気違った。最初に話があった、道は誰のものか。今日はその一言に尽きる。路面電車に関して言えば、堺のLRTについては地元商店街からも反対の声が上がり残念。道は人のもので、車は困っても我慢するという考えができれば今日の問題はほとんど解決できる。この数年間オランダでは Shared Space という、信号機や標識を一切取り払いロータリーに変える試みがなされている。ドライバー同士がお互い気をつけ合うことが安全に繋がる。ルールや機械に頼ることは一見便利ではあるが、人への思いやりを持って運転することの方が大切なのではないか。コミュニティ道路とは1960年代にオランダで生まれた発想で、車と人を混ぜた方が車が遠慮しながら通行するという考えの下に生まれたもの。大阪市にも「ゆずり葉の道」というコミュニティ道路があり、譲り合いという意味も兼ねている。ハードの整備は市役所の方でがんばっていただけると思うので、譲り合いの精神などをどうすれば交通の部分で取り戻せるかを一緒に考えていきたいと思う。

事務局挨拶

今回は歩道を中心に構造のこと、マナーの啓発のあり方について活発に意見交換していただいた。いただいたご意見は次回懇話会でお返しできるようにしていきたい。発言しづらいというご指摘もあったので、次回はより気軽に発言できるような雰囲気作りをしていきたい。ご参加いただきありがとうございました。